

令和4年9月秋彼岸

おかげさまで大盛況です。毎日 墓地墓石の成約 資料請求 葬儀・法事依頼 寄進の申し出と活況を呈しております。法務のない日はほぼありません。パンフレットの増刷 補充も追いつきません。これまでの苦勞の成果なのかもしれない。やってきたことの正当性が評価されているのならありがたいことです。人事を整理できたことも功を奏しているようです。僧侶仲間を厳選したこともよかったです。今はおそらく仏教界は100年に一度の破壊的危機とも言えます。宗派によってはこれから統合も出てくることが予想されます。曹洞宗は巨大教団のためひょっとすると分裂もないとは言えない気もしています。非常にバランスは取れている宗派ではありますがまとまりはなく騒動宗と言われる所以。いずれにしても何処の宗派も弱体化することは間違いなく檀家管理の寺院は急増します。寺院は檀家で管理できるほど容易ではありません。神社とは違い墓地の管理や事務処理 宗派との付き合いなど雑務に追われます。内輪揉めをしているところも多いやに仄聞しておるところです。合併が進むことは時間の問題です。当院では本堂の大改修の次はみんなの社員食堂かと思えます。中食 宅配 テイクアウトが出来たらと思案中です。お寺も次の一手を考えないといけない時期です。葬儀法事は確実に減少していきます。墓じまいにも拍車がかかり今後は加速度的に増えます。催物いわゆるイベントには何の効果もありません。坐禅会 写経会 御詠歌の会 落語会とかやっても意味はありません。寺院の求心力が高まることはありません。徒勞に終わります。私は

ひたすらただひとりでそして住み込みの年季奉公の人たちと早朝より欠かさず
梵鐘 読経 坐禅 掃除の日々です。これに勝るものはありません。何をやっ
ても檀家が振り向くことなどありません。自立して飄々と我が人生を生きてい
ることが仏道です。そう割り切って毎日 修行と勉強と仕事の毎日です。坐禅
修行も毎日こなしているため何のストレスもありません。むしろ日々 檀信徒
は擦り寄ってきて困るくらいです。ですから僧侶は世間におもねて生きること
などないのです。自信をもって我が生き様を見せつけてこそ大布教です。これ
で充分。他にも何にも要りません。今や私は人間関係の煩わしさもありません。
経済的に困ることもありません。漸く理想の生き方ができるようになりました。
これが私がたどり着いた理想のお寺像です。僧侶像です。究極の日本仏
教再生論です。秋彼岸にあたり我が心中を及ばずながら披瀝させていただいた
次第です。

合掌

令和4年9月23日 中日

見性院住職

